

平成 2 7 年 第 1 回 臨時 会

建設 水道 常任 委員 会
会 議 録

期 日 : 平成 2 7 年 1 月 3 0 日 (金)

場 所 : 大 曲 庁 舎 第 3 委 員 会 室

平成27年第1回大仙市議会定例会会議録

日 時：平成27年1月30日（金曜日）午前10時14分～午前10時43分

会 場：大曲庁舎 第3委員会室

出席委員（7人）

委員長	23番	千葉	健	副委員長	6番	佐藤	育男
委員	4番	佐藤	隆盛	委員	18番	小松	栄治
委員	19番	渡邊	秀俊	委員	22番	高橋	敏英
委員	25番	本間	輝男				

欠席委員（0人）

なし

説明のため出席した者

建設部長	小松	春一	神岡支所農林建設課長	石山	齊
道路河川課長	進藤	孝雄	西仙北支所農林建設課長	佐藤	弥
道路河川課参事	佐々木	英雄	中仙支所農林建設課長	高橋	正由
道路河川課参事	今	久	協和支所農林建設課長	田中	盛耕
建築住宅課長	朝田	司	南外支所農林建設課長	佐藤	高義
建築住宅課参事	佐々木	富夫	仙北支所農林建設課長	須田	和久
建築住宅課参事	加藤	実	太田支所農林建設課長	佐藤	朗
建築住宅課参事	古屋	利彦			

議会事務局職員出席

副主幹 富樫 康隆

審査議案等

議案第1号 平成26年度大仙市一般会計補正予算（第10号）

午前10時14分 開 会

○委員長（千葉 健） はい、おはようございます。本日は本会議休会中のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。時節は大寒過ぎて、もうすぐ立春を迎えるわけですが、積雪のほうはご覧のように小康状態ということで、我々一般市民にとっては大変ありがたい状況であると、このように思うところであります。

それでは委員の皆さん全員揃いましたので、只今より建設水道常任委員会を開会いたします。当委員会に付託された事件について、別紙日程表のとおり審査いたしますので、よろしく願いいたします。なお、正確な会議録作成のため、発言をする際は委員長の許可を得たあと、マイクのスイッチを入れてからお願いいたします。

審査に入る前に当局から挨拶がありましたら、お願いいたします。小松建設部長。

○建設部長（小松春一） おはようございます。建設水道常任委員の皆様には大変お忙しいなか、委員会を開催いただきまして誠にありがとうございます。

今臨時会でご審議をお願いいたします案件は、除雪対策費及び住宅リフォーム支援事業に係る補正予算でございますが、先程、市長の招集挨拶にもございましたとおり、12月中の降雪が昨年同期を大幅に上回る状況となっております。早朝除雪の出動回数の増はもちろんでございますが、正月前に排雪作業の実施も行っております。現在は1月過ぎてから小康状態、一服している状況でございますが、本格的な降雪期はこれからということで、不足が予測されているなかでの補正をお願いするものでございます。

また、住宅リフォーム支援事業につきましては第5回臨時会におきまして補正を承認いただいておりますが、リフォーム支援事業のうち克雪対策分を拡充したところ、反響が非常に大きくなっておりまして、想定した申請件数を上回っております。こうしたことから、それぞれの事業の補正をお願いするものでございます。

詳しい内容につきましては担当課長がご説明申し上げますので、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

また、終了後のお願いでございますが、中仙地域の広域農道、斉内川に架設されている「坂の上橋」という橋梁がございますが、実は本日、市のホームページにもアップさせていただいておりますが、この橋につきましては長寿命化計画のなかで、平成27年度、来年度に本格的な修繕を、工事を実施する予定となっている橋でございますが、そのための詳細な調査設計を今現在行っているところでありまして、その調査のなかで特にコア抜きしたところ、一部に昨年度ご心配をおかけしました

飯田線に架かる「館の橋」のような状況に陥るおそれが多分にあるということで、まだ陥没したわけではございませんが、本格的な修繕工事を実施する前の予防措置といたしまして、鉄板防護等の工事を着手したいということで考えております。それのご報告を最後にさせていただきたいと考えておりますので、なにとぞお時間をいただけるようお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

○委員長（千葉 健） はい、ありがとうございます。それではさっそく審査に入ります。議案第1号、「平成26年度大仙市一般会計補正予算（第10号）」を議題といたします。なお、所管関係課の内容を一括説明いただき、まとめて質疑、討論、採決を行いたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。それでは当局より説明を求めます。はじめに進藤道路河川課長。

○道路河川課長（進藤孝雄） それでは議案第1号、「平成26年度大仙市一般会計補正予算（第10号）」のうち、道路河川課所管分につきましてご説明申し上げます。

補正予算書の7ページ、事業説明書は1ページをお開き願います。8款2項2目12事業「除雪対策費」は4億円の増額補正をお願いし、補正後の額を14億1,836万9千円とするものであります。今回の補正予算につきましては、1月15日現在の除雪出動回数は豪雪でありました昨年並みのような状況であり、各地域平均で17回、ちなみに昨年は18回でございました。除雪業務対策に係る予算の執行率は全体で84%を超えております。事業説明書に記載しておりますが、今年度は12月の降雪量が多く、12月だけで除雪出動平均回数が例年の約1.6倍の12回でありました。また路面整正や拡幅作業とともに、早い時期での大がかりな排雪を実施したことにより、除雪経費が多く支出されております。さらに今後の降雪や、排雪作業の回数も増えることが予測されるため、委託料や使用料が不足することが見込まれること、また、きめ細かな除排雪体制の充実を図り、市民生活の安全・安心な除雪体制構築のため、除雪対策費の増額補正をお願いするものであります。

その主な内容であります。予算書7ページの13節「委託料」2億8千万円につきましては、早朝除雪の委託費及び排雪の委託費など、除排雪作業業務委託料に要する経費でございます。

14節「使用料及び賃借料」1億2千万円につきましては、排雪作業時等に使用する重機等の借上げ料に要する経費であります。

事業説明書に戻りまして、1月16日以降の早朝除雪出動見込回数は16回としており、現計予算での対応可能回数は8回であり、不足分の8回分の除雪経費と、

2月から3月において市内全域で実施される排雪作業に要する経費3回分を合わせ、4億円の補正でございます。

お手元にお配りしております資料、「道路－1」の1ページをお開き願います。1ページ目上段に各地域1月15日現在の補正前の予算額10億1,836万9千円と執行額及び残額1億6,081万5千円と、委託料2億8千万円及び使用料1億2千万円の補正額、そして補正後の予算残額5億6,081万5千円等を記載してございます。また、右下には各地域の出動回数と、除雪1日あたりの稼働費を併せて記載してございます。今年のこれまでの特徴としては、東部地域の太田・中仙地域の降雪量が多く、出動回数も他地域と比べ少し多くなっております。

資料2ページ目をお開き願います。大曲地域の平成23年からの比較として、積雪深と降雪量、及び12月の出動回数を記載してございます。左側、積雪深グラフの赤の実線が12月から1月15日までの積雪深を表したもので、右側が降雪量と出動回数を表したものでございます。このように12月の積雪深や降雪量及び出動回数が、過去3年より多い事が示されてございます。

次のページからは、神岡地域から太田地域まで、同じように各地域の数値を記載してございますので、どうぞご参照願いたいと思います。

以上、議案第1号、「平成26年度大仙市一般会計補正予算（第10号）」のうち、道路河川課所管分につきましてご説明申し上げましたが、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。以上です。

○委員長（千葉 健） はい、ありがとうございます。次に朝田建築住宅課長

○建築住宅課長（朝田 司） 議案第1号、「平成26年度大仙市一般会計補正予算（第10号）」の建築住宅課所管分につきまして、ご説明いたします。

資料No.1の補正予算書7ページをお願いいたします。8款4項1目20事業「住宅リフォーム支援事業費」につきましては454万1千円を増額し、補正後の額を7,957万5千円とするものであります。財源の内訳は一般財源となっております。この内容につきましては、資料No.1-1の事業説明書及び常任委員会資料「建住－1」によりご説明いたします。

始めに事業説明書の2ページをお願いいたします。事業名「住宅リフォーム支援事業費」ですが、委員ご承知のとおり、リフォームを行なう市民に対して財政的支援を行い、居住環境の向上と市内住宅産業の活性化及び雇用の創出を図るものであります。また、今年度から、雪に強いまちづくりのひとつとして克雪住宅を推進し、住民の雪害や事故防止の意識を高めることとしております。

今年度事業の当初目標は400件の申し込みを予定しておりましたが、補助金交付要件の緩和や、克雪対策工事を新たにメニューに加えたことなどから、9月末時点での状況と昨年度の実績を参考に最終申し込み件数を457件と予想し、昨年10月、臨時議会で894万8千円を補正予算議決していただいております。

しかしながら、昨年の10月補正予算議決後に予想以上に補助申請があり、12月には予備費から299万9千円を充当しております。例年、10月以降は80件前後の申し込み件数でありましたが、今年度は137件となり、特に今年度から補助メニューとして創設した克雪対策が130件と、予想以上の伸びであったことから、最終件数見込みを491件に修正し、所要額の補正をお願いするものであります。

次に委員会資料「建住－1」の1枚目をご覧くださいと思います。12月末現在の申請件数は478件で、昨年比11.9%増で、全体工事費で11億円以上の経済効果を算出しており、そのうち克雪対策工事では、約2億円の工事が施工されております。また、資料の2枚目は地域別の申請件数等を示したものでありますので、後でご覧になっていただきたいと思います。参考までですが、この事業は平成21年度から実施しており、いままでに2,300件ほどの補助実績があり、4億3百万円の補助支給をしております。総工事費の累計としましては47億3千6百万円となっており、地元工務店や設備関係業者に大きな経済効果を算出していると認識しております。また、今後も市民の住宅リフォームに対するニーズは依然として高く、市内の住宅産業の活性化につながっていくものと考えております。

今回は、リフォーム事業に携わる担当として申請件数の見込みを過小判断してしまい、再度の補正予算審議をお願いすることを深くお詫びいたしたいと思います。また、今後の当事業の目的、目標達成のため努力してまいりますのでよろしくご理解願います。

以上、補正予算の建築住宅課所管分につきましてご説明申し上げましたが、よろしくご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。以上です。

○委員長（千葉 健） はい、当局の説明が終了いたしました。これより質疑を行います。質疑のある方はお願いいたします。はい、小松委員。

○委員（小松栄治） 基本的なことでお伺いしますが、除雪の算定方法についてですけれども、除雪費ね。各地域でそれなりに違うと思います。そのあたり、わかる範囲で結構でございますので教えてもらいたいと思います。

○委員長（千葉 健） はい、課長。

○道路河川課長（進藤孝雄） 除雪出動につきましては各地域で設置しておりますメール発信、降雪量が10cmを超えた場合に一齐出動するというような体制、もうひとつは各地域でメールが鳴らなくても、路面状況、路面整正、また、幅だしが必要な場合は各地域の判断におきまして出動してございます。そしてこの資料（道路1）1ページ右下に書かれているように、各地域の一齐除雪した場合の稼働費ですね、これ1回出ればいくらというものを明記してございますので、これの積み上げによって今回補正予算を計上しているような状況でございます。

○委員長（千葉 健） はい、小松委員。

○委員（小松栄治） 私聞ってるのは、今、課長言ったことでなく、基本的なこと聞きてなだす。除雪費の、各地域でそれなりに違うことだと（聞き取り不能）、それの、全体もなんだけども、今回もなんだけども、あとは、みんなのは都度わかっております。ただ、予算の組み方について、どういう算定で予算は組まれるのかと、成されるのものなのかと、それを最初聞いたんですよ。

○道路河川課長（進藤孝雄） 委員長、いいすか。

○委員長（千葉 健） はい、課長。

○道路河川課長（進藤孝雄） 今回の予算、9月補正でいただいた「除雪対策費」でございすけれども、過去9年の一番多い年、それから一番少ない年を除いて、その平均の出動回数、これを算定してこの9月予算を算定してございます。それが今回の補正前の額でございす。

○委員長（千葉 健） はい、小松委員。

○委員（小松栄治） ちょっと、私言ってるの、ちょっと俺せ、言葉足らずで、把握できなかったと思いますけれども、除雪費の算定方法、いわゆる私言ってる意味はすよ、課長、距離なんぼあって、その地域々々でいろいろ違うでしょ。その算定方法聞ってるんですよ。あんたほうで出すときに基本あるでしょ。西仙は、例えば、道路がなんぼあって、何メートルあって、それかけるなんぼでやってると。こういうことでこれ算定出すんですよ。それで出動回数がなんぼいくか、そのなかで。業者さんさもそれなりに分かれてお願いしているわけなんですけどもすな。それを聞いってるんですよ。

○委員長（千葉 健） はい、課長。

○道路河川課長（進藤孝雄） 各地域によって路線数、路線延長、それから機械の大きさ、そういうものがまちまちでございす。で、これにつきましては延長も関連してきますけれども、1台あたりの除雪稼働時間、これを積み上げてそれぞれ

除雪対策費として計上してるものでございます。

○委員長（千葉 健） はい、小松委員。

○委員（小松栄治） 私の考えはすよ、あんたのプラスアルファ。これ要望になるかもしれないけれどもすよ。それを基本とした考え、プラス、積雪量も関連してくるすべ。

○道路河川課長（進藤孝雄） はい、もちろんです。

○委員（小松栄治） ましてやせ、山際ではそれなりの時間が多くかかるわけすよ、積雪量が13cmと30cmでは。我々も除雪してれば、ローダーでやっててわかるんすをなんし。だから、そのあたりを加味しながら各地域の除雪費の算定をしなければならんんじゃないかなという意味なんですよ、なんし。だから、中仙と西仙、大曲、違うわけなんだけれども、それを我々が把握してないわけすよ。皆さんわかってるかもしれない、私だけかもしれないけれどもすよ。どういった方法でせ、算定されて予算を出されるもんだなが。西仙は11回出動するとか、それさ、油だってそれはわかります、基本的にな。だども、あんたたち組む段階で、これはせ、なんぼの積雪量で、それをあてにしてやってると思うんですよ。ただ10cm以上降ったからあれだでねえと思うんだ。あんたの説明では、やっぱり時間はかかる場合は、その分だけかけていくということなんだ、それが基本なんですよ。それをやらなければ、出さなければ予算は組まれないわけなんだと思いますよ。だから、中仙は単に距離が多いとか、西仙は距離、西仙のほうが多いんじゃないかな、協和のほうが距離があるんじゃないかなと、我々は見てるんですけども。逆に中仙のほうは、少ないんじゃないかなと思ったりしてもいる、面積関係でみればすな。南外のほうは逆に雪の量が多くて、その分かかり増ししてるんじゃないかなあと、そういう見方をしてるんですよ。だから、そのあたりも業者さんと打ち合わせしながらやってると思うんだけど、まあ、そうやってやってるもんだべかなあと、それをお聞きしたいんです。

○委員長（千葉 健） はい、部長。

○建設部長（小松春一） 基本的な考え方としては、もちろん除雪延長、降雪状況、特にその気象条件によっては、これ不確定要素というのは当然あるわけなんですけれども、基本的にはその早朝一斉除雪というのは朝の7時半頃まで、要するに稼働時間5.5時間ぐらいでできるようにということで、各業者さんに割り振りしてる。で、実態はどうかと申しますと、これも降雪状況によって1時間・2時間プラスは当然、稼働時間出てきますけれども、やはりその、正確、一番正確なのは、過去、

例えば10年間ぐらいの実績、これが一番正確なわけで、やっぱりそれに基づいて、やっぱり除雪経費というのは割り出しているような状況です。だから、やっぱりその、各業者間の持ち分の割り振りが、いかにこう適正にやれるかというのもひとつあるとは思いますが。

○委員長（千葉 健） はい、小松委員。

○委員（小松栄治） 部長言ったことは、そのとおりなんです。私言いたいのは、いわゆるせ、当初予算もなんだけども、今回の補正もなんだけども、過去のデータは間違いなく見ます。でも、ただ過去のデータばかりじゃなく、もう一回基本に帰って、せっかくな、機械さいろんなもの付けたもんだから、そのなかで計算して予算を出してもらいたい、こういう意味なんです、まずそれひとつ。まずそれ要望になるどもすな。もうひとつ。

○委員長（千葉 健） 別の質問ですか。

○委員（小松栄治） そうです。

○委員長（千葉 健） はい。

○委員（小松栄治） 進藤課長どこさ、大変難儀かけてると思うけれども、例えば、市道でない道路の除雪等々について、あちこちで、私もひとつばしじゃなくこう聞いて、要望とか上げております。そのあたりのことについての、市の考え方、部長さんにお聞きしたいと思っております。共有(道路)関係でな、そのあたりお願いします。

○委員長（千葉 健） はい、部長。

○建設部長（小松春一） 委員ご指摘のとおり、やはり市の道路に認定されない道路でも、いわゆるその生活圏をやっぱり確保するとか、というご要望は当然あります。で、やはりそれは、いわゆる生活道路で2、3軒が当然そこを通っているような所で、しかも、できれば底地が赤道^{あかみち}であるような、いわゆる公道とみなせるような道路であれば、できるだけカバーするにはしているつもりでございます。

○委員長（千葉 健） はい、小松委員。

○委員（小松栄治） どうか、個人とか、生活する人の家までも、生活に不便がなく、いわゆるロータリーで飛ばせるぐらいはできるはずだと思います。ロータリーとかではなくても、狭い道でもすよ。そのあたりを、気を遣いながらやっていただければありがたいもんだなあと。これ要望ですけども、よろしく願います。

○建設部長（小松春一） 状況調査等をしながら、できるだけお応えしたいと思います。

- 委員長（千葉 健） はい、ほかにございませつか。はい、本間委員。
- 委員（本間輝男） この資料の中のすよ、道路維持、これ、予算執行率、これ書いてもらえれば、大したありがてなあとというのが私の本音でした。
- 委員長（千葉 健） はい、課長。
- 道路河川課長（進藤孝雄） 予算の執行率、ちょっと説明のなかではお話ししてございますけれども、予算額に対して執行率が今現在で84%、こちら超えてございます。これ、全体予算に対しての執行率でございます。このあたりをちょっと、来年度からちょっと気をつけたいと思います。84%でございます。
- 委員長（千葉 健） はい、本間委員。
- 委員（本間輝男） 非常に今年の場合、皆さんにいろいろ頑張っただいて、非常にありがたいなあと思っています。その点は、非常に今年はいいなあと思っていますが、ひとつだけ。この、地域的に格差があるような気してならねんすおな。例えば仙北と神岡なんては、まあ、やり方だかもしれねえども、この地域格差ってのは結果的に各旧町村の、支所の課長の判断にもよるし、条件にもよるので一概には言われねえし、道路延長もあるだろうし、条件も違うということだと思っけれども、このバランス的なことについては本庁ではなんか指示してるもんだすか、予算に関しては。
- 委員長（千葉 健） はい、課長。
- 道路河川課長（進藤孝雄） この今回の補正後の予算につきましては、バランスが非常に悪いように感じられますけれども、これまでの執行状況、それから、これからの8回分の不足している除雪、そして排雪、それを加味して配分した予算がこれでございます。
- 委員長（千葉 健） はい、本間委員。
- 委員（本間輝男） それからもうひとつ。今、軽油安くなってるんだけど、この軽油の価格というのは、おそらく30円ぐらい安くなってると思っんだけど、これに関して、除雪経費に関して、どのような契約の仕方してるのか。と言うのは、30円ぐらい下がったっていえば、全体からいえば2割以上下がっているような気がするんだけど、そういうような契約条項があるのかどうか確認します。
- 委員長（千葉 健） はい、課長。
- 道路河川課長（進藤孝雄） これは年度当初に除雪委託契約結びますけれども、その時の軽油の単価で契約してございます。この軽油は上がったたり下がったりします

けれども、下がったからといって減額する、上がったからといって増額するようなものではございませんで、当初の契約そのものの単価で、今年度は乗り切るということでございます。

○委員長（千葉 健） はい、本間委員。

○委員（本間輝男） まず契約はそのとおりだ。ただよ、150円するものが120円だと、115円ぐれえだどもな、今な。で、35円も違う。全体の予算からいえば、これ、すごく違うど。おそらく、14億5千万円の除雪費のなかで、おそらく燃料費というのは3分の1とか4分の1になるんでねえ。3分の1ぐらいはなるんでねえ。なんねえか、んだか。まず説明してけれ。

○委員長（千葉 健） はい、課長。

○道路河川課長（進藤孝雄） 除雪単価というのは運転労務費、燃料費、損耗費、維持修繕費、減価償却費、そして管理費で構成されているものでございます。ですので、燃料費が下がったからといって、3分の1になるとか、3分の1減額なるとか、そういうかたちにはなりませんので、それはご承知願いたいと思います。

○委員（本間輝男） ちなみに契約、リッターあたりなんぼで決めてるもんだ

○委員長（千葉 健） はい、課長、どうぞ。

○道路河川課長（進藤孝雄） 当時で134円でございます。

○委員（本間輝男） ああ、んだが、わかった、よし。

○委員長（千葉 健） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） ほかに質疑がなければ質疑を終結いたします。これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） 討論なしと認めます。これより採決いたします。本件は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） 本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。以上で、当委員会に審査付託となりました事件の審査は、すべて終了いたしました。なお、本委員会の「審査報告書」及び「委員長報告」の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（千葉 健） 異議なしと認め、そのように決しました。これで建設水道常

任委員会を閉会いたします。

午前10時43分 閉 会

大仙市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

大仙市議会 建設水道常任委員会委員長 千葉 健